

◆ 議長記者会見概要

日 時：平成28年3月25日（金）15：48～15：57

場 所：県政記者クラブ（県庁内）

出席者：中村 昭議長、山本 進章副議長、荻田義雄広報委員会座長



中村 昭議長

山本 進章副議長

荻田義雄広報委員会座長

〈案 件〉

（1）議会中継における手話通訳について

奈良県において、「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」が、昨年2月の定例県議会で議決されました。それを受けて、奈良県でも手話通訳を進めていこうと取り組んでいるところです。奈良県議会では、聴覚障害をもっておられる方々に、開かれた議会を目指す取り組みとして、議会での手話通訳導入に向け、議会改革推進会議で検討しているところです。

議会運営委員会として、先進県である鳥取県を視察させていただきました。聴覚障害をもっておられる方々に向き合って、手話通訳を奈良県議会にも取り入れたい、障害者に優しい県政を作り上げていこうという思いで、手話通訳導入調査経費10万6千円が計上されました。県議会として、本会議導入に向けて、具体的な検討をすすめていきたいと考えています。

(2)「若草山焼き鑑賞」正副議長室の開放、議場コンサートについて

県民に親しまれ、開かれた議会を目指す取り組みの一環として、若草山山焼きを、障害者の方に良い展望のところから見ていただくということで、議長室、副議長室を開放して、観覧していただきました。

また、今定例会の開会日の冒頭に議場コンサートを開催しました。今回で4回目の開催となり、奈良フィルハーモニー管弦楽団員によるフルートとピアノの響きを楽しんでいただきました。

<質 疑>

○議会中継における手話通訳について

Q：手話通訳の導入は、いつの議会からですか。

A：平成29年度から導入できるように、放送関係のテクニカルな問題、人材の問題について、調整しながら、できるだけ早い時期にできるようにしたい。1年費やして試行し、平成29年度には本格実施できれば、と考えています。

Q：本会議場に手話通訳の方が入られるのですか。

A：いろいろな手法が考えられます。例えば、モニターを見ながら別室で手話をして、それを映すなどがあります。技術的なことも含めて、全体として検討します。

Q：委員会への導入はどうですか。

A：委員会は、激しいやり取りがあるので、まずは本会議で導入します。

Q：全国ではどのくらい導入されているのですか。

A：5団体です。奈良県は、現在、テレビ中継とインターネット中継を実施していますが、両方で手話通訳を導入したいと考えています。

Q：傍聴者に対する手話通訳はないのですか。

A：議場にディスプレイがあれば一番いいと考えています。